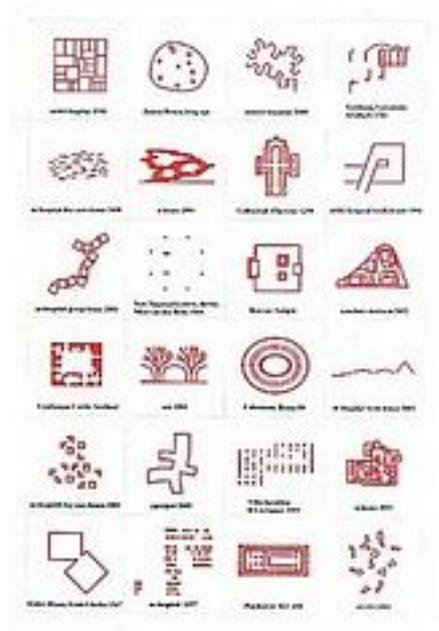


建築が生まれるとき



[建築が生まれるとき 下载链接1](#)

著者:

出版者:王国社 (2010/08)

出版时间:2010-8

装帧:平装

isbn:9784860730475

作品の良し悪しは好みの問題も大きいですが、作品に込められたコンセプトと建築に対する考え方については、最も共感できる建築家のひとり。同世代ということもあり、その活躍には特に注目している。

著者によると、現代とは情報（＝新しい単純さ）と環境（＝コントロールできない他者）の時代であり、未来の建築のための五つの問を投げかけている。

1. 場所としての建築・・・場・ランドスケープ

2. 不自由さの建築・・・可能性
3. 形のない建築・・・不完全さ・許容力
4. 部分の建築・・・局所的秩序
5. あいだの建築・・・関係性

コルビュジェの近代建築の五原則を意識してのことだろうが、「原則」ではなく「問」としているところが、時代性というか、国民性を感じるころ。

詳細は省略するが、「弱い建築」「関係性」「距離感」「居場所」「新しい座標系」「曖昧さ」などを鍵語に建築の初源へと思考を遡っているのが興味深い。

コンセプト（言葉）と作品（建築）が乖離していると感じる建築家が多い中、藤本氏は両者の「あいだ」に注目することにより、その矛盾を違った形で解消しようとしているように思える。そこには、西洋キリスト的な二項対立的発想ではなく、東洋仏教的な「空」的発想が感じられる。

作者紹介:

藤本 壮介

1971年北海道生まれ。1994年東京大学工学部建築学科卒業。2000年藤本壮介建築設計事務所設立。現在東京大学特任准教授、慶應義塾大学、東京理科大学非常勤講師。主な作品「伊達の援護寮」(2003、JIA新人賞、AR AWARDS入賞)。「安中環境アートフォーラム国際設計競技」(2003、最優秀賞)。「T house」(2005、東京建築士会住宅建築賞金賞、AR AWARDS入賞)。くまもとアートポリス設計競技「次世代モクバン」(2005、最優秀賞)(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

目録:

[建築が生まれるとき_ダウンロード1](#)

标签

藤本壮介

建筑

日本

日本建筑

建筑诞生之时

建筑设计

(A) 藤本壮介

Architecture

评论

一本让人觉得宁静和深邃的建筑随笔

藤本壮介的“笔记本”

小秩序

这本小书居然是我这个假期读最久的。首先村长店里买来的这版翻译很烂，藤本的一些话语又很晦涩。一星完全是扣在翻译上，内容很赞！

4.5

工1B・建築 220-0:F.11 駒場図・3F開架 520.4:F62 觉得读着读着就变得很安心。。。

竖着的字，看着真难受

好评~

.....=意外的很一般..

呃，竖向文字可能我看不习惯吧，加上翻译是不是有点问题……好多不理解来着的。

翻译略有问题

“建筑并非空间，建筑是一种存在，是成就存在的秩序”

零散的小智慧。书末对秩序的一些观点心有戚戚。

中文版出了，之前看的是盗版中文，嘿

勉强读完。他是心平气和的去说服别人==

安藤大字版

花了大头钱 60多买的盗版 一本简单有趣的小书

很好懂，但是步子太大，讲得略显单薄

伴随着痛苦的买书过程= =

[建築が生まれるとき 下载链接1](#)

书评

[建築が生まれるとき 下载链接1](#)